

行財政改革市民懇談会(平成26年度第1回) 会議録

日時：平成26年11月26日(水)
午後7時～9時
場所：全員協議会室

出欠状況

座長					
富田	秋山	伊藤	川尻	菅野	鈴木
○	○	欠	○	欠	欠
関	時田	内藤	柳田	吉原	
○	○	○	○	○	
事務局(政策企画課)	総合政策部長、課長、副課長、担当				

内 容
<p>1 開 会 ・政策企画課長</p> <p>2 あいさつ ・総合政策部長</p> <p>3 自己紹介 ・参加者と事務局の自己紹介</p> <p>4 議 事 ※進行は座長</p> <p>(1) ご意見等の回答について</p> <p>① まちづくり寄附のお礼状の様式について</p> <p>○質疑 参加者：贈呈品の費用はどのくらいなのか。 事務局：2千円程度のものをお送りしている。 参加者：贈呈品カタログのなかで、コシヒカリの生産者は「有機生産者集団、市内生産者」とあるが、富士見市特裁米研究会も特別栽培米を栽培しているのではないのか？現状の表記を改めたほうが良いのではないのか。 事務局：確認のうえ対応する。</p>

※11月27日産業振興課へ確認後※

特別栽培米についてまちづくり寄附贈呈品の提供元は、「富士見市有機生産者集団」および「富士見特裁米研究会」であるため、まちづくり寄附贈呈品カタログ中の表記を一部修正した。

修正前：富士見市有機生産者集団、市内生産者

修正後：富士見市有機生産者集団、富士見特裁米研究会

参加者：市の収入についてはマイナスなのか。市への寄附分はプラスとなるが、逆に市民が市外へ寄附すると市にとってマイナスとなるが、そのプラスマイナスはどうなっているのか。

事務局：平成24年および平成25年中の税控除の情報をみると、富士見市はマイナスとなっている。数字については、次回ご報告したいと思う。

② 集会所稼働率について

○質疑

参加者：集会所別に稼働率にばらつきがあるが、その背景のひとつには地理的な要因もあるのか。

事務局：あると考えている。地域によって活動団体の数や町会での使用頻度が異なることや、アクセスのしやすさが異なることも背景のひとつである。

参加者：集会所の使用方法などについては市民に認知されているのか。どのように周知などを行っているのか

事務局：市ホームページにより案内しているほか、利用案内のパンフレットを作成し各集会所や公共施設に配置している。

参加者：予約はどのように行えばいいのか。市民にもっとわかりやすく周知することが必要だと思う。予約がとりづらい公民館やコミセン等の利用者にとってはありがたいのでは。

事務局：集会所ごとに配置している管理人へ直接申し込んでいただいている。管理人の連絡先については協働推進課を経由して案内している。

参加者：集会所のあり方については市の方向性がどうなのかを整理してほしい。

事務局：今後の課題とさせていただきます。

(2) 富士見市の行財政改革について

①第5次行財政改革・行動計画の平成25年度進捗状況報告

○質疑

参加者：東京電力からPPS（特定規模電気事業者）へ変更する際に、交換機等の経費は発生するのか。

事務局：プラスアルファの経費は発生していない（電線やメーター等設備の入れ替えは不要）。PPS事業者には何かあった場合でも、東京電力が対応するようになっており、そのリスク管理も事業者負担となっている。PPSについては、市は電気代を抑制できること、東京電力は電線等の利用料をPPS事業者から得られること、事業者は業務代行手数等の収益を得られることで、3社それぞれにメリットのある仕組みとなっている。

参加者：町会加入率が低いのは何が問題なのか。

参加者：例えば、マンション居住者の加入も一つの課題である。マンションの家賃に町会費が含まれることもあるが、マンションが新規に立地される場合は、家賃に組み込む案内を町会からマンション所有者にしている。

参加者：マンションの立地が増えると、町会の加入人数が増加し、規模が大きくなることもありうる。その場合、町会の再編（2分化するなど）の動きはないのか。規模が大きくなると町会の負担が多くなり、また、人数の多いところは敬遠する市民なども出てくる可能性もある。加入率にも影響してくるように思う。

参加者：町会により人数規模が異なる現状であり、再編も今後の課題である。

参加者：富士見市活性化のために、「誇りを持てる富士見市に」という意見が前回出ていたがフィルムコミッションや観光など、富士見市への郷土愛が持てるようなことや富士見市の知名度を上げていくような施策を進めていただきたい。

事務局：先日、市役所隣のキラリふじみがテレビドラマの撮影（12月2日・9日に放送）に使用された。また、富士見市出身の著名人に観光大使の申し出をするなど、富士見市のアイデンティティを高めていく努力をしていきたいと考えている。

参加者：名所旧跡など整理して、うまくPRしていくといいと思う。

事務局：情報をどう伝えていくかを統一していくことや観光資源が少ない中、魅力をどう伝えていくか、ららぽーと富士見や、ゆるキャラ、著名人などといった点在する資源をつないだ取組みを戦略的に計画していきたい。

参加者：市民が郷土愛や誇りを持てるまちにしていきたい。

参加者：女子栄養大学との連携により、富士見市の銘菓特産を開発するなどの取組みも大事になると思う。

事務局：富士見市オリジナルの商品開発なども進めていきたい。また、女子栄養大学などといった専門性を備えた大学と連携していることを活かし、富士見市のブランド力を高めていきたいと考えている。

参加者：ららぽーと富士見における市民の雇用促進について、市の考えは。
事務局：4～5千人の雇用が創出される予定。市民の雇用をお願いしたいという市の意向はお伝えしているが、どの程度雇用されるかはわからない。
参加者：もっと市民が雇用されるような施策を推進してほしい。店の求人状況については把握しているのか。
事務局：公表されていない情報であり、市としては把握していない。ただし、担当課からは、ららぽーと富士見側には市民の雇用について働きかけをしている。
参加者：行動計画は、この時期の作成ならば、平成26年度の予定も書いておくといいと思う。継続となっていることも経緯などがあれば具体的に書いてほしい。

5. その他

(1) (仮称) ららぽーと富士見・路線バスの運行計画路線について

- ・路線図をもとに説明

(2) 次回の日程について

- ・平成27年2月下旬～3月上旬頃の開催を予定

6 閉 会

- ・政策企画課長